

野菜の苗植えにチャレンジ!



JA職員が野菜苗の植え方を指導しました



スコップで穴を掘っていきます



元気に育ちますように~!



上手に植えられかな?

JAでは「うちの農業・食べ物」の大切さを伝えようと、平成15年から「親子でちやぐりんスクール」を開いています。今年一回目のイベントでは、畑に「ミニトマト」を育て方を教わり、各家庭で栽培に挑戦します。

ちやぐりん通信

~Vol.1~

開催日
令和8年5月9日(土)



ミニトマトの育て方を学びました

JAいわてグループでは、昨年に引き続き「わくわく純情ミニトマト」を開催し、管内の小学生と一緒にミニトマト栽培にチャレンジする企画を行っています。JA職員が苗の植え方や家庭での管理の方法をレクチャーしました。

ここにつぼみがあるよ~!



1束ずつ丁寧に植えていきます



目印に沿って真っ直ぐに~!

田んぼに「ひとめぼれ」の苗を植えました!



藤原さん親子

「ちやぐりん」をふりかえって...

★輝一さん(4年生)
野菜の育て方を教えて、大変な苦労があることを知りました。田植えは足がはまって大変だったけど、苗を植えるのが楽しかったです。

★夏輝さん(1年生)
畑に野菜を植えるのは初めてだったけど、教わった通りに植えることができました。ピーマンが収穫できた肉詰めにして食べたかったです。

★父・光一さん
私も一緒に楽しみながら貴重な経験をさせてもらいました。子どもたちには、普段食べているものがどのようにしてできるのか、体験を通して学ぶ機会になればいいと思います。

次回は「田んぼの生きもの調査」を行う予定です! どうぞ楽しみに!

水稻生産者の皆さまへ

需要に応じた生産の徹底をお願いします

▼需要量が減少しています

政府の主食用米の需要見通しは、令和7年10月時点で697~711万トンとされていましたが、令和8年3月には691~704万トンと下方修正されました。

▼令和8年産米の需給環境は大幅な供給過剰見込みです

作付意向調査を踏まえた令和9年6月末の民間在庫数量は、適正とされる180~200万トンを超えて最大271万トンが見込まれています。よって水田をフル活用しながら需要に応じた戦略作物の生産をすすめ、主食用米(もち米・酒米を含む)に加えて、水田活用米穀(加工用米等)の需要に対し、確実な供給に向けた取り組みが重要です。

令和8年産米 JA概算金最低保証価格について

需給環境が極めて厳しい状況にあることから、令和8年産米のJA概算金最低保証価格を提示することはできません。しかし当JAでは、食料システム法に基づき公表された「米のコスト指標価格」を一つの目安として位置づけ、努力目標として取り組んでまいります。



◀コスト指標について

(公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構)

※参考:令和8年度4月時点 玄米60kgあたりのコスト指標...20,535円(税込)

令和8年もお米の出荷はJAいわて花巻へ!

コスト指標に基づいた努力目標、そして当JAが掲げる「150万袋集荷」の達成に向けて役職員が一丸となって取り組んでまいります。JA独自の「カントリー利用加算(60kgあたり300円)」、「個人フレコン出荷加算(60kgあたり50円)」についても、今年も継続してお支払いします。

米出荷についてご不明な点がございましたら、
営農部 米穀販売課、各地域営農グループ・営農センターまで
お気軽にお問い合わせください。

